

◎昭和44年度第8回理事会議事録

(45.3.20) 出席者：柳沢会長，尾之内，国分，長浜の各副会長，羽田専務理事，安藤，内田，小川，大地，岡田，倉田，後藤，末沢，高橋，土方，平岡，南，毛利の各理事，大橋，川瀬の各監事。議事録署名理事の決定：柳沢会長，羽田専務理事，大地理事。A. 報告事項：つぎの各項目につき羽田専務理事から報告がありました。1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会・その他報告。4) 本部役員候補者選考委員会報告。B. 協議事項：1) 企画委員会第1回報告について；羽田専務理事より経過および議事内容につき説明があった。これに対して北海道支部をはじめ種々の意見があった。主な意見および結果はつぎのようであった；

① 国土総合開発委員会：総合交通体系の理論的解析をやるということであるが，既設の土木計画学委員会の研究テーマと重なっており，土木計画学委員会でも，そういう問題や水資源の問題をやるうとしていっているので，その辺の調整が問題であるという発言あり，その結果差し当って懇談会として発足し，それらのことをよく懇談してから委員会とすることは差支えないということになった。

② 原子力土木技術委員会：既設の委員会を併合，拡充するもので結構であるが，既設委員会とよく話し合うこと，および原子力安全審査会への土木の発言力について，委員会も学会も積極的に努力すべきだということになった。

③ 水資源問題懇談会：企画委員会として，細部未成案であるので，一応保留。しかし，この問題の必要性については異論がなかった。

④ バイブライン懇談会：国鉄でも研究中だが，土木屋以外の人を入れてやるべきだということ，異論はなかった。

⑤ 電算機懇談会：行事の企画とも思われるが，懇談会を発足させてから議論してもらうことで諒承。

⑥ 行事企画委員会：学術講演連絡委員会との関連もあり，別途に，学会運営の問題として検討するのが妥当だということになり保留。

⑦ 公害懇談会：この種のことを土木屋が研究することは必要であるということ諒承。

⑧ 建設コンサルタント業委員会：建設業の問題とは性格も違うので委員会とすることで諒承。ただし名称は誤解を招くので業の字を削って，建設コンサルタント委員会とすることになった。

⑨ 新設する委員会等の構成メンバーについて：委員会の委員長は理事会の承認を要することになっており，構成メンバーをどうして決めるかについて討議されたがまず企画委員会で案を作り，細部まで決定しないで，理事会に出してもらうということになった。

⑩ 土木学会の組織と運営の問題について：企画委員会第1回報告中の学会の運営に関する問題は，理事以外の若い人も入った別のグループで審議した方がよいということ，理事会か

ら担当理事および各支部所属理事計11人，学術常置委員会から委員長の推せんする委員計10人，合計21人のメンバーで懇談会を開き検討することが諒承された。

なお，役員の交代があるので，それまでに一応意見をまとめたいということでした。2) 昭和45年度事業計画案について；事務局より説明があり，字句等を一部修正のうえ承認。3) 昭和45年度予算案について羽田専務理事より予算の概要を説明，さらに経理課長より細目につき説明があり承認。4) 第2回評議員会開催について，日時，議案などを承認。5) 会員の入退会について。6) 委員の委嘱について

① 役員候補者選考委員会委員

委員	山岡 勲	北海道大学
	松本順一郎	東北大学
	今井 勇	建設省
	奥村 敏恵	東京大学
	樺島 正二	奥村組
	木内 政鋭	京浜外貿埠頭公園
	北山 昇	日本道路公団
	佐用 泰司	鹿島建設
	西田 正之	国 鉄
	前田 実	電源開発
	増田 重臣	岐阜大学
	長坂 一彦	熊谷組
	伊藤 富雄	大阪大学
	岡田 清	京都大学
	後藤 尚高	京都大学
	野瀬 正儀	関西電力
	南 俊次	阪神高速道路公団
	安山 信雄	愛媛大学
	檀 東一郎	九州大学

② 田中賞選考委員会

委員	西嶋 国造	帝都高速度交通営団
	池田 康平	日本鉄道建設公団
	上前 行孝	首都高速度道路公団

③ 原子力土木技術委員会

委員	小西 勇	日本原子力発電
----	------	---------

④ PC工法小委員会(フープコーン工法)

委員	沖中浩一郎	建設省
----	-------	-----

⑤ 鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会

委員	平井 康善	日本鋼管
----	-------	------

⑥ 中海干拓事業水理研究専門委員会

委員長	速水頌一郎	京都大学
-----	-------	------

委員	岩垣 雄一	京都大学
----	-------	------

	奥田 節夫	京都大学
--	-------	------

	樋口 明生	京都大学
--	-------	------

	沢田 敏男	京都大学
--	-------	------

	南 勲	京都大学
--	-----	------

	井島 武士	九州大学
--	-------	------

	室田 明彦	大阪大学
--	-------	------

	土屋 昭彦	建設省
--	-------	-----

	鶴田 千里	運輸省
--	-------	-----

幹事	湯川 勝太	農林省
----	-------	-----

	池本 寅夫	同
--	-------	---

	石川 明	同
--	------	---

	舟越 博	同
--	------	---

	高木 悦郎	同
--	-------	---

	菊川 雅夫	同
--	-------	---

	山下 源彦	同
--	-------	---

	山田 正恭	同
--	-------	---

	大勝 為総	同
--	-------	---

	松本三樹夫	同
--	-------	---

嘉藤章太郎	農林省	
幹事補佐	白石 英彦	同
	藤野 欣一	同
	松友 三郎	同
	三本武津雄	同
	松本 久生	同
	鈴掛 穂	同
	高橋 昇	同
	古屋 修	同
	菊岡 保人	同

◎各種委員会

(1) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会設計分科会(45.2.17) 出席者：猪股主査，ほか10名。議事：1) 前回議事録の確認。2) プレストレスの広がり。3) 許容応力による断面の検討。

(2) 論文集編集委員会第4部会(45.2.17) 出席者：関係者3名。議事：1) 前回第4部会報告。2) 査読報告。3) 部会長報告に関連して。4) その他。

(3) 沈埋トンネル小委員会(45.2.18) 出席者：大平委員長，ほか11名。議事：沈埋トンネル指針(案)の審議。

(4) 論文賞選考委員会主査幹事会(45.2.18) 出席者：国分委員長，ほか11名。議事：1) 経過報告。2) 推薦(応募)候補論文の資格検討。3) 候補論文の専門別仕分け。4) 審査員の決定。5) 審査方法。

(5) 海岸工学編集小委員会(45.2.18) 出席者：堀川委員長，ほか7名。議事：1) Coastal Eng. in Japan, 1969 編集作業について。2) Coastal Eng. in Japan, 1970 公募について。3) 前回委員会報告に関連して。4) その他。

(6) 論文集編集委員会第5部会(45.2.19) 出席者：尾坂部会長，ほか3名。議事：1) 前回第5部会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 部会長報告に関連して。5) その他。

(7) 会誌編集委員会(45.2.20) 出席者：森委員長，ほか10名。議事：1) 経過報告。2) 受付原稿審査。3) 次回マンスリートピックス。4) 次回特集打合せ。5) 依頼原稿の件。6) アンケート案協議。7) その他。

(8) 耐震工学委員会第9回常任委員会(研究会)(45.2.20) 出席者：岡本委員長，ほか21名。議事：1) 第3回日本地震工学シンポジウム(1970)について。2) 研究会：①杭の付加質量について 運輸省 山下生比古，②杭基礎の振動特性について 東京大学 久保副委員長，③地震時構造物の進行性破壊の解明について 土田常任委員ほか。3) 地震工学に関する文献リストの作成について。4) 4th WCCEE の論文紹介について。

(9) 論文集編集委員会第1部会(45.2.20) 出席者:前田部会長,ほか8名。議事:1) 前回第1部会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 部会長報告に関連して。5) その他。

(10) 琵琶湖の将来水質に関する調査委員会(45.2.23) 出席者:岩井委員長,ほか9名。議事:1) 昭和44年度報告書の検討。2) 昭和45年度委員会の運営方針。

(11) 昭和44年度第3回橋梁構造委員会(45.2.23) 出席者:平井委員長,ほか9名。議事:1) 第16回橋梁構造工学研究発表会について。2) 第17回橋梁構造工学研究発表会について。3) 小委員会報告;①耐風設計研究小委員会,②橋梁年報編集小委員会。4) 構造物の耐風性に関する第1回シンポジウムについて。5) 関係学協会との連絡事項について。6) 委員会の今後の運営方法について。

(12) 論文集編集委員会打合せ(45.2.23) 出席者:国分コンクリート委員会委員長,ほか3名。議事:投稿論文の内容と委員会の業績の関係について話合った。

(13) 第21回原子力土木技術委員会(45.2.23) 出席者:左合委員長,ほか8名。議事:1) 第7回理工学における同位元素研究発表会について。2) 原子炉安全基準専門部会について。3) 次期委員会構成について。4) 委員会の今後の調査研究事項について。

(14) 地震応答を考慮した橋梁下部構造の耐震設計に関する研究委員会第3回幹事会(45.2.24) 出席者:関係者15名。議事:1) 井筒振動試験実測結果について。2) 実測結果解析について。

(15) 第12回企画委員会(45.2.24) 出席者:仁杉委員長,ほか7名。議事:1) 前回議事録の確認について。2) 水資源問題について。3) 企画委員会第1回報告案について。

(16) 大学土木教育委員会第14回幹事会(45.2.24) 出席者:関係者2名。議事:1) 座談会の内容のとりまとめ結果の報告ならびに問題点の検討について。2) 大学土木教育に関するアンケート(案)について。

(17) 水理公式集改訂委員会「発電編」打合せ(45.2.24) 出席者:嶋主査,千秋副主査,ほか5名。議事:水理公式集の改訂に伴う「発電編」の執筆について;1) 各委員の作業状況の確認。2) 正副主査会議の議事録を中心にした各問題点の検討。3) 今後の作業予定の確認。3) その他。

(18) PC工法小委員会(フープコン工法)(45.2.25) 出席者:国分委員長,ほか24名。議事:フープコン工法設計施工指針第1原案の逐条審議を行なった。

(19) 欧文論文集編集小委員会(45.2.25) 出席者:林委員長,ほか2名。議事:欧文論文集 Vol. 1, Part 1, 1969の編集作業について。2) 表紙の決定。3) 欧文論文集 Vol. 1, Part 2, 1969の作業方針。4) その他。

(20) 海外活動委員会(45.2.27) 出席者:太田尾委員長,ほか9名。議事:海外で活躍された方々をお招きして懇談会を行なった。

(21) 土構造物の設計標準に関する研究委員会第13回幹事会(45.2.27) 出席者:関係者12名。議事:第14章くい基礎の原案を審議した。

(22) 表彰委員会主査幹事会(45.2.27) 出席者:長浜,高橋両主査,ほか2名。議事:1) 経過報告。2) 功績・技術両賞候補の資格,調整。3) 功績・技術両賞候補の選考方法について。

(23) 土構造物の設計標準に関する研究委員会第14回幹事会(45.2.28) 出席者:関係者13名。議事:1) 第2章直接基礎の原案の審議。2) 昭和44年度報告書について。

(24) 論文集編集委員会打合せ(45.2.28) 出席者:関係者4名。議事:投稿論文の内容と委員会の業績について。

(25) 沈埋トンネル小委員会幹事会(45.3.2) 出席者:大平委員長,ほか3名。議事:沈埋トンネル指針(案)の審議。

(26) 論文集編集委員会第3部会(45.3.2) 出席者:中瀬部会長,ほか5名。議事:1) 前回第3部会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 部会長報告に関連して。5) その他。

(27) 地震応答を考慮した橋梁下部構造の耐震設計の研究委員会打合せ(45.3.4) 出席者:関係者4名。議事:1) 井筒振動試験共振曲線の整理方針。2) 土のパネ常数および付加質量について。3) 44年度報告書作成方針。

(28) 土構造物の設計標準に関する研究委員会幹事打合せ(45.3.4) 出席者:関係者5名。議事:第3回委員会提出資料(第1章~4章の条文,解説)の検討を行なった。

(29) 文献調査委員会(45.3.4) 出席者:新谷委員長,ほか11名。議事:1) 会誌55巻5号登載抄録について。2) 解説記事について。3) その他;①文献分類

項目について,②会誌文献目録欄について。

(30) 会誌編集委員会書評小委員会(45.3.4) 出席者:関係者4名。議事:1) 経過報告。2) 受付図書審査。3) 次回登載原稿決定。4) その他。

(31) 土木年鑑集委員会主査幹事会(45.3.5) 出席者:春日屋委員長,湯浅副委員長,ほか3名。議事:1) 経過報告。2) 改訂箇所(先回委員会にて協議)協議。3) 1971年版目次改訂案協議。4) その他。

◎その他

(1) 青函トンネル委託打合せ(45.2.26) 出席者:関係者若干名。議事:青函トンネルの委託につき打合せを行なった。

(2) 岩の力学研究連合委員会第5回幹事会(45.2.27) 出席者:関係者9名。議事:1) 国際岩の力学会(I.S.R.M.)について;①第2回国際会議(ユーゴ)について,②事務連絡事項;国内新会員の募集について,会計報告。2) Rock Mechanics in Japan(英文刊行物)作成について。3) 連合委員会収支中間報告。

(3) 構造物の耐風性に関する第1回シンポジウム組織委員会第2回幹事会(45.3.6) 出席者:関係者6名。議事:1) 原稿の確認ならびに論文集の体裁,印刷部数等について。2) 参加募集ならびに招待について。3) シンポジウム当日の運営方法について,①司会者について,②事務分担について。4) 予算案について。

(4) 岩の力学研究連合委員会臨時幹事会(45.3.10) 出席者:岡本委員長,ほか6名。議事:国際岩の力学会(I.S.R.M.)第3回国際会議1974年日本開催の件。

(5) 構造物の耐風性に関する第1回シンポジウム第3回組織委員会(45.3.11) 出席者:関係者11名。議事:1) 原稿の確認ならびに論文集の体裁,印刷部数等について。2) 参加募集ならびに招待等について。3) シンポジウム当日の運営方法について;①司会者について,②事務分担について。4) 予算(案)について。

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 講演会(45.2.23, 宮城県民会館)

題目と講師:

- 水質汚濁について
東北大学教授 松本順一郎
- 大気汚染について
東北大学教授 沢谷 次男
- 建設工事現場における労働災害について
宮城労働基準局課長 磯田 健久
- 建設生産をめぐる諸問題
建設工業経営研究会専務理事 益田 重幸
- 映画; 礎 (いしづい)

参加者: 151 名
参加費: 無料

(2) 技術研究発表会 (45.2.24, 宮城県民会館)

参加者: 189 名
参加費: 無料

発表会終了後クローバーにおいて懇談会を行なった (参加者 57 名)

研究発表会プログラム:

開会あいさつ 東北支部幹事長 浅間 隆

第 1 部門

- 砕石コンクリートに関する実験
東北大学工学部 外門正直・菅生邦孝 北沢敏夫
- 硬化した軽量骨材 コンクリートの性質におよぼす乾燥の影響
東北大学院 原田喜三郎・青海 潔
- 細骨材として銅からみを用いたコンクリートの品質
運輸省小名浜港工事事務所 伊藤晟一
- コンクリートの被膜養生について
運輸省塩釜港工事事務所 田沢則彦
- 東北地方におけるコンクリート構造物の凍害調査について
東北大学工学部 後藤孝正・外門正直 ○杉山嘉徳・島山昭三
- 釜房ダム左岸尾根部グラウトについて
建設省釜房ダム工事事務所 皆川順治 大石克雄
- 北上堰鋼管基礎試験杭について
建設省北上川下流工事事務所 会津正人
- 塩釜港真山埠頭における連続鋼管矢板応力測定について
運輸省塩釜港工事事務所 小野川繁澄 東北大学工学部 河上房義・柳沢栄司
- 仙台港南防波堤の断面について
運輸省塩釜港工事事務所 佐々木忠男
- サイロット工法で施工した被りの浅い道地圧と地表沈下測定
国鉄盛岡工務局 ○末平 治・加藤 光
- 東北地方における地盤の凍結深についての側面的考察
秋田大学鉱山学部 宮川 勇・猿谷 彰
- 粒度変化による修正トベカ混合物のすり減量特性について
秋田県工業試験所 藤田光雄 秋田大学鉱山学部 ○小野光郎
- すりへり減量を考慮したアスモルの適切な配合設計について
秋田県工業試験所 藤田光雄 秋田大学鉱山学部 ○佐藤英之
- 米代川橋りょうの設計施工とこれに関する試験について
国鉄盛岡工務局 ○石田 宏・生田雄康
- 供試体中の亀裂の長さが強度に及ぼす影響の実験的研究
東北大学工学部 ○田野久貴・橋爪欣彌

- 飽和粘土の動的せん断特性について
東北大学工学部 柳沢栄司・渡辺豊彦
 - 粘土泥流のレオロジー 特性に関する実験的研究
日本大学工学部 ○木村喜代治・藤田龍之 高橋迪夫
 - 白河地方のローミングについて
日本大学工学部 藤田龍之
 - 気仙沼線 20.000 km 付近軟弱地盤に対する調査ならびに施工計画について
鉄道建設公団盛岡支社 岡崎 準
 - 砂柱工法による海底地盤の改良効果について (第 3 報)
東北大学工学部 河上房義 東北工業大学工学部 ○浅田秋江 東北大学工学部 須藤良清
 - 十勝沖地震による山崩れ地域 (正法寺地内) の支持力調査について
東北工業大学工学部 浅田秋江 八戸工業高等学校 ○鈴木富士弥
 - 分布量と難数量との等価置換に関する考察
東北大学工学部 ○佐武正雄・新関 茂
 - ケーブルステイダンパーによる吊橋の振動制御
東北大学工学部 倉西 茂・高橋龍夫
- 第 2 部門
- 仙台港背後圏の経済調査について
運輸省塩釜港工事事務所 小野川繁澄
 - 浚渫工事の工程管理について
運輸省塩釜港工事事務所 陣内陽一郎
 - 仙台新港南防波堤の前面洗掘現象について
運輸省塩釜港工事事務所 山形正秀
 - 塩釜港航路埋没現象について
運輸省塩釜港工事事務所 藤田 明
 - 青森県東部海岸の波浪特性について
運輸省八戸港工事事務所 岩淵栄一
 - 陸上瀬上津波に関する実験
東北大学工学部 岩崎敏夫・富樫宏由 大島 聡・畑中仁一郎 森河 久
 - 静水面上に自由落下する水脈についての実験的研究
東北大学工学部 坂本龍雄・藤原忠司 松垣原弘
 - 土砂水路路の変形に関する一実験
東北大学工学部 坂本龍雄・三王英寿 佐藤昌宏
 - 淡塩境界面附近の濃度変動の測定
東北大学工学部 岩崎敏夫・阿部至雄 日下 理・渡部義信
 - 阿武隈河口砂嘴に関する一研究
東北大学工学部 岩崎敏夫・工藤蚕吾 村上和男
 - 44 年 8 月強雨における奥只見川の水災害について
東北大学工学部 岩崎敏夫・長谷直樹
 - 秋田県内誘致企業の物資流動に関する研究
秋田大学鉱山学部 清水浩志郎 ○米谷民憲
 - 秋田市におけるパーソントリップについて
秋田大学鉱山学部 清水浩志郎・富田光一 ○宮島 潔
 - 盛岡市における交通機能について
岩手大学工学部 佐藤源蔵・安藤 昭 佐藤康彦
 - 秋田市におけるバス交通網に関する研究
秋田大学鉱山学部 清水浩志郎

- 児玉昌明・高田憲次
- 通勤通学交通に関する研究
秋田大学鉱山学部 清水浩志郎
 - 河川水濁質中の鉱物種の同定
東北大学工学部 下坂坂潤三・岡岡正和
 - 塩釜湾内の汚濁機構について
東北大学大学院 ○橋本孝一・佐藤和二 油井 彰
 - 急速砂濾過における薬注量の減少が濾過におよぼす影響について
東北大学工学部 佐藤敏久・浜谷光昭 千葉信男
 - 表面曝気による酸素吸収と攪拌効果について
東北大学大学院 ○羽田守夫・赤間 薫
 - 散水濾床の水理特性
東北大学工学部 ○本田善則・原田博夫
 - 散水濾床の浄化機構に関する基礎的研究
東北大学大学院 小林浩志
 - 消化槽加温に関する一考察
八戸工業高等専門学校 ○阿部正平 群馬工業高等専門学校 脇山清一
 - 汚泥消化におよぼす重金属類の影響
東北大学工学部 酒井満夫・野池達也 富沢健二・山田健彦

(3) 第 1 回幹事会 (45.4.10, 仙台市クローバー) 出席者: 18 名。議題: 1) 昭和 44 年度行事および決算の報告。2) 昭和 45 年度行事計画および予算の説明。3) 昭和 46 年度全国大会の準備について。4) その他

(4) 第 1 回屋食会 (支部長, 顧問, 商議員) (45.4.14, 支部事務局) 出席者 12 名。議題: 1) 昭和 44 年度賛助金収納状況。2) 昭和 46 年度全国大会場所の決定について。3) その他
講演: 南方視察談 (飛鳥建設支店長)

◎関西支部

(1) 舗装に関する研究会 (45.1.30, 大阪科学技術センター)
題目と講師

- 舗装路面のすべり路面のすべり現象とその対策について—
建設省土木研究所道路部長 工博 市原 薫
- アスファルト舗装の設計—わが国の舗装構造設計上の問題点について—
建設省土木研究所舗装研究室主任研究員 南雲 貞夫
- コンクリート舗装の設計—コンクリート舗装要綱の改訂に伴う構造設計上の問題点について—
日本道路公団技術部調査役 工博 岩間 滋
- アスファルト混合物の検査と品質管理—主として現行の抜取検査方式と問題点について—
建設省土木研究所舗装研究室長 工修 松野 三朗 司 会 日本道路公団大阪支社工事課長 竹中 弘起

参加者: 220 名
(2) 若い会員懇親パーティ (第 3 回) (45.1.30, 大阪科学技術センター)
参加者: 19 名 (内招待関係 5 名)

(3) 構造物・施設の調査に関する研究会 (第1回) 橋梁調査に関する研究会 (45.2.25, 大阪科学技術センター)

題目と講師

- 橋梁の実情調査, 特に応力頻度について
大阪工業大学助教授 岡村 宏一
 - 道路橋の諸試験の現状と結果の検討
近畿地方建設局道路管理課長 近藤 浩
 - 振動による橋梁下部構造の健全判定法について
国鉄鉄道技術研究所主任研究員 池田 和彦
- 司会 京都大学教授工学部 工博 山田 善一

参加者: 84名

(4) 耐食・耐候材料の現状に関する講習会 (45.2.20~21, 大阪府商工会館)

主催: 日本材料科学会関西支部
協賛: 土木学会関西支部, ほか9学協会

題目: 9題

参加者: 81名

(5) 臨時商議員会 (45.2.9, 好文倶楽部)

関西支部事務所船場 センタービル4号館 409号購入, 移転決定した。

出席者: 関係者 38名

(6) 臨時幹事会 (45.2.9, 好文倶楽部) 出席者: 野瀬支部長, 岡田幹事長,

ほか12名。

(7) 常任幹事会 (第5回) (45.2.17, 好文倶楽部) 出席者: 岡田幹事長, ほか9名。

(8) 役員候補者選考委員会委員打合せ (45.2.9, 好文倶楽部) 出席者: 後藤委員, 野瀬支部長, 岡田幹事長。

(9) 45年度全国大会実行委員会講演部会 (第2回) (45.2.9, 好文倶楽部) 出席者: 榎木講演部会長, ほか11名。

(10) 45年度全国大会実行委員会総務部会 (第2回) (45.2.9, 好文倶楽部) 出席者: 岡田総務部会長, ほか7名。

(11) 事務所移転土質工学会 関西支部と打合せ (第1回) (45.2.7, 関電ホール) 出席者: 関係者4名。

(12) 事務所移転特別委員会 (第2回) (45.2.14, 土木学会関西支部) 出席者: 岡田幹事長, ほか6名。

(13) 第45回騒音振動委員会 (45.2.16, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか12名。

(14) 騒音振動委員会幹事会 (第41回) (45.2.16, 好文倶楽部) 出席者: 庄司委員長, 畑中幹事長, ほか4名。

(15) 商議委員交替

(旧) 二宮 正明

広島市建設局専門員に転出

(新) 森下 繁

滋賀県土木部河港課長

(16) 土木学会 昭和45年度全国大会実行委員会追加委嘱

講演委員: 宗宮 功
京都大学助教授工学部

◎西部支部

講演および映写会

(1) 3月17日 佐賀市県立図書館講堂

参加者: 80名

講演: 県下の土木事情について

佐賀県土木部長 信田 正雄

九州耶馬台論

西日本技術開発地下資源調査

所長 根中 治

映画: 伸びゆく原子力発電

東名高速道路

伸びゆく新幹線

新しい鉄づくり

マレーシヤムダ川かんがい工事

(2) 3月19日 熊本市県立図書館ホール, 参加者: 200名

講演: 県下の土木事業について

熊本県土木部長 雪竹 秀巨

九州耶馬台論 根中 治

映画: 佐賀に同じ

第1回土木計画学シンポジウム	B5判	134頁	定価 700円	送料 70円
第2回土木計画学シンポジウム	B5判	120頁	定価 700円	送料 70円
第3回土木計画学シンポジウム	B5判	132頁	定価 700円	送料 70円
土木計画学講習会テキスト 1	B5判	122頁	定価 800円	送料 70円
土木計画学講習会テキスト 2 (新刊)	B5判	152頁	定価 1200円	送料 80円

上記図書購入ご希望の方は代金に送料をそえて土木学会へお申込み下さい。

編集後記

連休も明け間もなく初夏を迎えようとするこのごろ, 国内の話題は環境保全と交通事故防止が大きな比重を占めているように見受けられる。両方とも, 直接間接に土木技術に関係してくる問題だけに, 安閑とはしてはいられないご時勢ではある。本号では, 札幌, 横浜, 東京の交通問題を掲載し, 次号でも地方都市の交通問題を取りあげる予定である。また, わが国で開催される国際会議も近年とみに多くなってきているが, この方面の記事も石原, 吉川両氏にお願いして載せた。今秋には, 東京でトンネル工学に関する国際シンポジウムが開催される予定であり, 本学会が中心になって準備をすすめているが, 建設技術界の国際化時代の話題にはことかかない近日, 巻頭のオーク

ランドハーバー橋の工事報告もこの辺の事情を伝えて興味深いものがある。

また, 今月号には異色の記事を載せた。女人禁制を特に掲げたわけではなかったが, 学会誌に女性の本格的な登場は今までなかった。そこで, 今月号に曾野綾子さんに登場願って, 普段われわれの眼でみることのできない面から土木界の一端を眺めていただいた。ご一読を願いたい。

鯉のぼりのいさましい青空を背に, 各地の現場では作業も本格化することでしょうが, 安全には十分留意されたい。

(西山友昌・記)